

令和元年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(株)札幌ドーム	所管課	スポーツ局スポーツ部施設課
基本財産	1,000,000千円	記入者	担当 入江 電話 011-211-3045
設立年月日	平成10年(1998年)10月1日	本市出資額	550,000千円 (出資割合 55.0%)
設立・出資目的	施設規模や事業内容から市直営や既存の公益法人による運営は難しいものと考え、民間のノウハウを活用しながらも、公の施設として、広く市民に開放され活用されることが望まれることから、札幌市の方針及び施策へ深い理解を持ち、公平性・公益性を担保した管理・運営を行うため。 また、当事業によって得た利益を札幌市に還元されるようにするため。	出資年月日	平成10年(1998年)9月10日
代表者	代表取締役社長(常勤) 山川 広行(市以外)	沿革	平成10年 設立
主な出資者	① 札幌市 (55.0%) ② 札幌商工会議所 北海道電力 各 (5%) ④ 北洋銀行 北海道銀行 北海道瓦斯 北海道新聞社 サッポロビール プリンスホテル 各 (3%)		
団体所在地	〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地		電話 011-850-1000

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 貸館事業(広告・駐車場事業等を含む)(6ページ)	② 商業事業(7ページ)
内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与する。	イベント開催日及び非イベント日における観光営業の付帯事業として、札幌ドームの来場者に対する利便を提供する。
③ 観光事業(8ページ)	④ 市民利用事業(9ページ)
札幌の観光拠点のひとつとして、札幌ドームの年間を通じた幅広い集客を促進するとともに、国内ドーム初の展望台など施設の特性を活かした事業を展開する。	スポーツを愛する市民への利用を促進し、健康の維持向上やスポーツの普及振興を促進する。
(2) 総支出に占める事業支出割合	99.8% (主要事業支出合計 4,093,786千円 ÷ 総支出 4,100,847千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	貸館事業については、非常に高い稼働率を維持しており、スポーツの普及振興・市民文化の向上・地域経済の活性化に十分寄与しているものと判断される。今後とも、新たな事業展開等を継続的に検討し、非イベント日における更なる施設の魅力アップを図ることが望まれる。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	札幌ドームの管理運営業務に習熟し、イベント誘致や自主イベント企画、広告、飲食・物販事業などにより高い収益を確保し、札幌ドームの安定的な管理運営、高品質なサービス提供を図るとともに、その収益の一部による利益還元を積極的に行っている。今後も、新たな事業展開を継続的に検討し、収益の維持・向上に努める必要がある。

3 団体職員・構成員等

平成31年4月1日現在(単位:人)

役員	本市OB 本市派遣 プロパー その他				総数	プロパー職員の年齢構成				役員の任期			
	0	1	1	1		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	取締役	監査役
常勤取締役	0	1	1	1	13	0	17	17	21	14	2年	4年	
常勤監査役	0	0	0	1		17	17	1					
非常勤取締役			7			平均年齢 39.2 歳				代表権のある役員 の就任年月			
非常勤監査役			2									取締役	H29.6
職員	本市OB 本市派遣 プロパー その他				74	職員総数の推移(人)							
常勤管理職	0	1	18	0		H29.4.1時点	74						
常勤一般職	1	0	52	1		H30.4.1時点	74						
非常勤職員			1										

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		H29年度決算	H30年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	3,935,876	3,674,131 (100.0%) (▲ 261,745)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	3,889,715	3,616,030 (▲ 273,685)
			営業費用 (b)	3,705,677	4,100,847 (+395,170)
			うち販売費・一般管理費 (c)	980,271	1,449,344 (39.4%) (+469,073)
			うち人件費 (d)	164,825	171,976 (4.7%) (+7,151)
		営業利益 (e)	184,038	▲ 484,817 (▲ 668,855)	
	営業外	営業外収益 (f)	46,161	58,101 (+11,940)	
		当期純利益 (g)	163,015	▲ 357,738 (▲ 520,753)	
	貸借対照表	資産 (h)	4,618,826	4,281,405 (▲ 337,421)	
		流動資産 (i)	4,032,940	3,632,921 (▲ 400,019)	
		固定資産 (j)	585,886	648,484 (+62,598)	
		負債 (k)	1,413,994	1,454,311 (+40,317)	
		流動負債 (l)	1,334,178	1,397,111 (+62,933)	
		固定負債 (m)	79,816	57,200 (▲ 22,616)	
純資産 (n)		3,204,833	2,827,094 (▲ 377,739)		
資本金 (o)		1,000,000	1,000,000 (0)		
	借入金残高 (p)	0	0 (0)		

H30年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	プロ野球、プロサッカーをはじめ、イベント利用日数の減少に伴い貸館事業及び商業事業が減収となったほか、観光・チケット・駐車場の各事業も減収となった。一方、広告事業は新規広告枠の販売により増収となった。以上の結果、当事業年度の売上高は36億16百万円（前期比2億61百万円減）となった。
e	売上高が減少したことに加え、利用者サービスの向上のため、野球用人工芝の更新やエスカレーター設置等の改良工事等を合計7億77百万円実施したことにより、営業損失は4億84百万円（前期比6億68百万円減）、経常損失は4億26百万円（前期比6億56百万円減）となった。
g	当期純損失は3億57百万円（前期比5億20百万円減）となり、減収減益となった。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	H29年度決算	H30年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	86,256	60,213	(▲ 26,043)
市委託料	8,422	7,964	(▲ 458)
市業務委託料	8,422	7,964	(▲ 458)
うち随意契約	8,422	7,964	(▲ 458)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	1,584,425	1,420,471	(▲ 163,954)
うち非公募	1,584,425	1,420,471	(▲ 163,954)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		H29年度	H30年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	2,204,833	1,827,094	(▲377,739)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	69.4%	66.0%	(▲3.4%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	302.3%	260.0%	(▲42.2%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	18.3%	22.9%	(+4.7%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	53,188千円	49,650千円	(▲3,537千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	4.2%	4.8%	(+0.5%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	13,247千円	19,586千円	(+6,339千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	25.2%	40.1%	(+14.9%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	39.5%	37.5%	(▲2.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	39.5%	37.5%	(▲2.0%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	債務超過や累積欠損の状態になく、借入金は無い。自己資本比率は50%以上、流動比率は150%以上、固定比率は100%以下であり、前年度に引き続き、全て望ましい水準を維持している。 なお、職員一人当たりの経常収益が減少し、一方で管理費率は増加となっているが、これについては、プロ野球やプロサッカーをはじめとしたイベント日数減少に伴い、貸館事業及び商業事業の売上高が大幅に減少したことに加え、人工芝更新、エスカレーター設置により、改良工事等の費用が大きく増加したこと起因するものであり、これらの一時的な要因を除くと、安定的・継続的に収益を確保していると言える。					

(注1)市収入＝市補助金・交付金＋市業務委託料(随契約分)＋市指定管理費(非公募分)＋市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入＝市補助金・交付金＋市業務委託料＋市指定管理費＋市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の進捗評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○出資の必要性和出資目的の達成度の継続的な検証							
①	市出資金(出資比率)	目標	-	550,000千円 (出資比率 55.0%)	550,000千円 (出資比率 55.0%)	550,000千円 (出資比率 55.0%)	550,000千円 (出資比率 55.0%)
		実績	550,000千円 (出資比率 55.0%)	550,000千円 (出資比率 55.0%)	550,000千円 (出資比率 55.0%)	550,000千円 (出資比率 55.0%)	
評価	公の施設としての公共性を担保するとともに、本市として札幌ドームを維持していく上で必要な関与を団体に対し行うため、最低限と考えられる出資比率を維持した。今後についても、札幌市としての出資の必要性及び出資比率の妥当性並びに出資目的の達成度の検証を継続する。						

(2)人的関与

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○役員及び市派遣職員の継続							
①	役員(非常勤)就任数	目標	-	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	
②	市派遣職員数	目標	-	1	1	1	1
		実績	1	1	1	2	
評価	札幌市との密接な連携や人材育成に取り組むため、役員(非常勤)1名の就任と市職員2名を派遣(うち1名は常勤役員就任)し、主要出資者としての経営責任を果たしている。今後についても、必要最低限の人的関与としながらも、経営環境の変化に迅速かつ的確に対応できる体制を維持していく必要がある。						

(3)団体の活用

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○大規模スポーツ大会の開催							
①	大規模国際スポーツ大会の開催支援	目標	-	2017冬季 アジア大会 開催	-	-	RWC2019開催 東京2020開催
		実績	-	2017冬季 アジア大会 開催	-	-	
評価	当該年度については、前年度に引き続き、今後開催されるラグビーワールドカップ2019(RWC2019)及び東京2020オリンピック(サッカー)(東京2020)等の大規模国際スポーツ大会の開催に向けた情報収集、準備及び各種調整を行った。今後も大会の成功に向けた支援を継続する。						

○取組目標		No.	指標名	計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
○大型自主イベントの継続開催									
①	大型自主イベントの継続開催	目標	-	3	3	3	3	3	
		実績	2	3	3	4			
②	大型自主イベントの来場者数	目標	-	74千人	75千人	76千人	77千人	78千人	
		実績	54千人	88千人	81千人	104千人			
③	大型自主イベントの満足度	目標	-	81%	82%	83%	84%	85%	
		実績	79%	80%	78%	81%			
評価	前年度に引き続き、市民参加型のイベントとして「ふわふわアドベンチャー」、「6時間リレーマラソン」及び「サッポロモノヴィレッジ」を開催し、自主イベントによる来場促進に努めたほか、これまで培ってきたノウハウを活かし、新規自主イベント「北海道メイカーズ」を初開催した。今後についても、自主イベントを継続して開催するとともに、イベント来場者の満足度を検証し、来場促進に繋げていく。								

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		No.	指標名	計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
○札幌ドームの来場者数増加（イベント来場者数）									
①	札幌ドームの来場者数増加	目標	-	272万人	285万人	300万人	300万人	300万人	
		実績	291万人	299万人	293万人	268万人			
評価	当該年度については、プロサッカーの平均来場者数は前年度を大幅に上回ったものの、プロ野球の平均来場者数が前年度を僅かに下回ったほか、「札幌モーターショー」の開催がなかったことなどにより、イベント来場者数は前年度比8.4%減の268万人となり、目標達成には至らなかった。今後については、自主イベント等の来場者数増のほか、一層の来場者サービス向上を図るなど、目標達成に向け努めていく。								

(5) 団体統制

○取組目標		No.	指標名	計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
○プロパー社員の経営幹部育成									
①	プロパー社員の経営幹部就任数	目標	-	1	1	1	2	2	
		実績	1	1	1	1			
評価	社内外の人材によるバランスのとれた経営に配慮しながら、団体が培ってきた経営ノウハウの発揮、自主的かつ自立的な経営等を促進するため、プロパー社員1名の経営幹部への登用を継続した。今後についても、プロパー社員の経営幹部育成に向けた人材育成を図っていく。								

○取組目標		No.	指標名	計画策定時	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度
○再雇用制度の制定									
①	再雇用制度の制定	目標	-	制度設計	機関決定	導入	導入済	導入済	
		実績	-	制度設計	制度制定	導入			
評価	当該年度においては、人材資源の効果的な活用と組織力の強化に向け、定年退職者の再雇用制度の運用を開始した。今後については、制度に則った運用を徹底するとともに、適宜の見直しを実施していく。								

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		No.	指標名	計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
○札幌ドーム保全事業の実施									
①	札幌ドーム保全事業費	目標	-	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円	
		実績	76,000千円	66,716千円	62,906千円	596,099千円			
②	施設設備の改良工事の実施額	目標	-	150,000千円	200,000千円	150,000千円	100,000千円	100,000千円	
		実績	87,000千円	306,316千円	349,981千円	777,128千円			
評価	札幌ドームの施設設備の環境を維持するとともに、来場者サービス、ホスピタリティの向上を図るため、札幌ドーム保全事業の一部及び施設設備の改良工事を利益還元の一環として実施し、保全事業と改良工事の実施額は、それぞれ目標を大きく上回った。今後についても、計画的に保全事業及び改良工事を実施していく。								

○取組目標		No.	指標名	計画策定時	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度
○有期雇用から無期雇用への転換									
①	無期雇用転換制度の創設	目標	-	制度設計	機関決定	導入	導入済	導入済	
		実績	-	制度設計	制度制定	導入			
評価	当該年度においては、契約社員の雇用の安定化とモチベーションの向上を目指し、無期雇用転換制度の運用を開始した。今後については、制度に則った運用を徹底するとともに、適宜の見直しを実施していく。								

○取組目標		No.	指標名	計画策定時	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度
○障がいのある方の自立支援									
①	障がい者就労支援施設との取引件数	目標	-	1	2	2	2	2	
		実績	1	1	3	4			
評価	障がい者就労支援施設からの物品調達を実施することで目標を達成している。今後についても、障がい者就労支援施設からの物品調達等を継続していく。								

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報				
ホームページアドレス	https://www.sapporo-dome.co.jp/			
Eメールアドレス				
【経営状況等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 定款	<input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿	<input checked="" type="checkbox"/> 団体機構図	<input type="checkbox"/> 事業計画書	<input type="checkbox"/> 予算書
<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 決算書	<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画		
【事業情報等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報			
<input type="checkbox"/> その他（				）
ホームページ以外の情報媒体				
広報誌・冊子の発行：札幌ドームイベントニュース（広報誌）、札幌ドームガイド（パンフレット）、札幌ドームCSRレポート（パンフレット）、ドームプレス（会報誌）、HIROBA Mail（メールマガジン）、草野球メールマガジン（メールマガジン）				

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和元年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) 貸館事業 (広告・駐車場事業等を含む)

1. 事業概要	事業所管課：スポーツ局スポーツ部施設課	担当：入江	電話：011-211-3045
(1) 事業内容	①貸館事業 (イベント誘致やイベント運営のサポートを含む) ②自主事業 ・自主イベント (6時間リレーマラソン、ふわふわアドベンチャー、モノヴィレッジ、北海道メイカーズ、スポーツバイキングなど) ・友の会組織 (メンバーズクラブ) 事業 ・チケット販売、管理 ・広告事業 ③施設設備の維持管理 ④駐車場の管理運営 ⑤周辺環境対応業務 (札幌ドームの周辺の迷惑駐車防止の対策など) ⑥広報・PR活動 ⑦アマチュアスポーツ大会の実施 札幌6大学野球、全道市町村サッカーフェスティバルなど		市補助金 55,753千円 市委託料 (随意契約) 7,374千円
(2) 事業目的	内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供することに等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与する		
(3) 事業開始	平成13年 (2001年) 6月		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	H29年度	H30年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		2,841,269 (72.2 %)	2,712,138 (73.8 %)	(▲ 129,131)
事業収支 (単位 千円)	市補助金・交付金・負担金	79,867	55,754	(▲ 24,113)	
	市業務委託料	7,798	7,374	(▲ 424)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	1,434,596	1,329,846	(▲ 104,750)	
	自主事業収入 (補助金除く)	1,023,362	1,016,902	(▲ 6,460)	
	その他収入	295,646	302,262	(+6,616)	
	費用 (支出)	2,677,265	3,059,243	(+381,978)	
	事業費	1,967,297	1,975,930	(+8,633)	
	管理費等	709,968	1,083,313	(+373,345)	
	収支差	164,004	▲ 347,105	(▲ 511,109)	
収支比率	106.13%	88.65%	(▲ 17.47%)		
(2) 活動指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
① 自主イベント開催日数		7	8	11	9
② アマチュアスポーツ大会開催数		17	17	18	18
③					
(3) 成果指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
① 札幌ドームクローズドアリーナ稼働率		74.2%	64.7%	64.1%	74.6%
② イベント来場者数		2,929,339	2,512,000	2,682,981	2,978,300
③					

3. 所管局による評価

	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
(1) 事業の実施結果の有効性	<p>フランチャイズチームによるプロスポーツ (野球・サッカー) では、プロ野球の来場者数が減少したものの、プロサッカーの平均来場者数が前年度を大幅に上回るなど、国内最高峰のスポーツを観戦する機会を市民・道民に対し幅広く提供した。</p> <p>また、その他のイベントについても、これまで培ってきたノウハウを活かし初開催した「北海道メイカーズ」をはじめ、複数の自主イベントを開催することで来場促進を図ったほか、イベント開催状況を踏まえながら、アマチュアスポーツ大会の開催を受け入れ、利用料金の減額等を実施するなど、市民・道民が札幌ドームを直接利用してスポーツを実施する機会の確保に努めた。さらに、日本を代表するアーティストによるコンサートなど、市民文化の向上に寄与するイベントも積極的に誘致している。</p> <p>この結果、クローズドアリーナの稼働率は64.1%となり、目標値を僅かに下回ったものの、数多くのスポーツイベントやコンサートなどを開催することにより、事業目的である、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に大変有益な事業展開が図られた。</p> <p>なお、札幌ドームの設備などの整備、各イベントの設営・撤去を支障なく開催するための予備日などを考慮すると、イベント日数の大幅増は困難な状況にあるが、今後も事業目的の達成に向け、効率的な日程調整等により継続してクローズドアリーナの稼働率維持に努めていくことが重要であると考え。</p>
(2) 収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>プロスポーツをはじめとしたイベント日数減の影響を大きく受け、貸館事業は27億12百万円 (前期比4.5%減) と売上減になった一方、人工芝更新やエスカレータ設置等の改良工事の実施に伴い、管理費等が大幅に増加した。この結果、貸館事業の収支は平成26年度以来の赤字となっているが、これらの改良工事については、利用者及び来場者へのサービス向上のため、計画的に実施されたものであり、施設的环境整備の推進については本市のスポーツ振興に大きく寄与するものとして大変評価できる。</p> <p>今後についても、両フランチャイズへの支援と連携強化や自主事業の強化などにより、営業力・販売力の強化を目指すとともに、その土台となる人材育成及び組織力の強化の継続が望まれる。</p>

事業評価 (2) 商業事業

1. 事業概要	事業所管課：スポーツ局スポーツ部施設課	担当：入江	電話：011-211-3045
(1)事業内容	①通年営業飲食店舗の管理・運営 ・1階商業ゾーンの「スポーツ・スタジアム・サッポロ」 ②イベント開催時営業の飲食売店及び仲売業務の管理・運営 ③通年営業物販店舗の管理・運営 ・1階商業ゾーンの「グッズ☆ジャム」 ④イベント開催時営業の物販ワゴン販売の管理・運営 ほか		
(2)事業目的	<1>イベント開催日及び非イベント日における観光営業の付帯事業として、ドーム来場者に対する利便の提供 <2>ドーム経営の安定化に資するための収益事業として		
(3)事業開始	平成13年(2001年) 6月		

2. 実施結果

項目		H29年度	H30年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位 千円)	収入 (経常収益比)	1,049,810 (26.7 %)	920,027 (25.0 %)	(▲ 129,783)	
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	1,049,810	920,027	(▲ 129,783)	
	その他収入	0	0	(0)	
	費用(支出)	930,999	923,771	(▲ 7,228)	
	事業費	684,113	596,653	(▲ 87,460)	
	管理費等	246,886	327,118	(+80,232)	
収支差	118,811	▲ 3,744	(▲ 122,555)		
収支比率	112.76%	99.59%	(▲ 13.17%)		
(2)活動指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	販売促進キャンペーンの実施回数	7	8	12	8
②					
③					
④					
(3)成果指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	商業事業売上(千円)	1,040,786	942,222	911,589	964,509
②					
③					
④					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 前年度及び目標日数を超える販売促進キャンペーンを実施し、収益向上に努めた。 「飲食事業」では、食の安全を最優先に衛生管理を徹底したうえで、来場者ニーズを反映した商品内容・価格帯の多様化を実施し、来場者サービスの向上に繋げた。また、両フランチャイズチームと協力したメニュー開発や、好評だった「グルメプロデューズグランプリ」を継続開催するなど、食のエンターテインメント性を高める取組を行った。さらに、オンラインリサーチ等による来場者からのフィードバックを踏まえ、来場者と接するスタッフのサービスレベルを高める取組についても積極的に進め、利用者満足度の向上に努めている。 「物販事業」においても、両フランチャイズチームとのコラボグッズの販売に加え、市場トレンドを踏まえたオリジナルグッズの企画・製作等により、商品等の充実に取り組んだ。 今後も、札幌ドームの来場者数を増加させるため、飲食物販事業における来場者ニーズを的確に把握し、魅力的なサービス提供を継続していくことが重要と考える。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 イベント来場者数の減少に伴い、飲食・物販ともに売上減となり、商業事業の売上高は9億20百万円(前期比13.4%減)となった。 商業事業の売上についてはイベント来場者数に影響を受けるものの、来場者ニーズに応じたサービス提供を強化し、客単価の向上を図ることで更なる成果が得られるものと考えことから、効率的な販売体制の構築や提案力の向上が望まれる。

事業評価 (3) 観光事業

1. 事業概要	事業所管課：スポーツ局スポーツ部施設課	担当：入江	電話：011-211-3045
(1)事業内容	①ドーム展望台事業の管理・運営 ・展望台運営 ・来場者サービス（季節装飾設置、旅行会社とタイアップした各種割引、企画展の実施など） ②ドーム見学ツアー事業の管理・運営		
(2)事業目的	<1>札幌の観光拠点のひとつとして、年間を通じた幅広い集客の促進 <2>非イベント日における収益事業として、国内ドーム初の展望台など施設の特性を活かした事業展開の実施		
(3)事業開始	平成13年(2001年) 6月		

2. 実施結果

(1)事業 収支 (単位 千円)	項目	H29年度	H30年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		23,462 (0.6 %)	21,128 (0.6 %)	▲ 2,334
市補助金・交付金・負担金		0	0	(0)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		0	0	(0)	
市施設利用料金収入		12,294	10,511	▲ 1,783	
自主事業収入(補助金除く)		11,168	10,617	▲ 551	
その他収入		0	0	(0)	
費用(支出)		53,616	67,768	+14,152	
事業費		39,398	43,771	+4,373	
管理費等		14,218	23,997	+9,779	
収支差		▲ 30,154	▲ 46,640	▲ 16,486	
収支比率		43.76%	31.18%	▲ 12.58%	
(2)活動指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	札幌市や旅行会社等とのタイアップ企画の実施回数	35	36	38	36
②	※上記には市内観光施設との相互連携を含む				
③					
④					
(3)成果指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	観光来場者数	36,013	43,000	31,341	26,338
②					
③					
④					

3. 所管局による評価

(1)事業 の実施 結果 の有 効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出ていない
	事業目的の達成に向け、札幌市や旅行会社等とのタイアップ企画、市内観光施設との相互連携策を継続して実施した。 また、冬季装飾の設置の継続に加え、展望台を利用した特別展示会やコンサート、運動教室を企画するなど、年間を通じた幅広い集客に努めるとともに、総合案内に設置したデジタルサイネージを有効に活用し、チケットやドームツアーに関する情報について外国語表記も含めて発信するなど、事業目的の達成に向けた事業展開を図っている。 札幌市を代表する観光拠点の一つとして、非イベント日における施設の総合的な魅力アップが必要と考えられることから、集客の確保に向け、展望台を活用した事業展開の検討や、イベントの継続実施などにより、更なる集客増が望まれる。
(2)収 支 状 況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	イベント開催日も含め、可能な限り営業日数・時間の確保に努めるとともに、タイアップ企画も積極的に実施したものの、工事や震災による営業日数の減少が響き、観光事業の売上高は21百万円（前期比9.9%減）となった。 札幌ドームにおいては、貸館事業の収入確保のため、高い稼働率を維持することを念頭に置いており、非イベント日を増やすことは難しい状況にあるが、可能な限りの営業日数・時間の確保及び利用者サービス向上に努めるとともに、効率的な運営等による経費削減にも積極的に取り組むことで、費用対効果の高い事業が展開されることが望まれる。

事業評価 (4) 市民利用事業

1. 事業概要	事業所管課：スポーツ局スポーツ部施設課	担当：入江	電話：011-211-3045
(1)事業内容	①クローズドアリーナにおける草野球等の市民への利用開放 ②サッカー練習場の市民への利用開放 ③トレーニング室の利用管理 ④運動教室・ナイトランの実施（自主事業）		
(2)事業目的	スポーツを愛する市民への利用を促進し、健康の維持向上やスポーツの普及振興への貢献		
(3)事業開始	平成13年(2001年) 6月		

2. 実施結果

(1)事業 収支 (単位 千円)	項目	H29年度	H30年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		21,335 (0.5 %)	21,151 (0.6 %)	(▲ 184)
市補助金・交付金・負担金		0	0	(0)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		0	0	(0)	
市施設利用料金収入		20,170	19,242	(▲ 928)	
自主事業収入（補助金除く）		1,165	1,909	(+744)	
その他収入		0	0	(0)	
費用（支出）		36,473	43,004	(+6,531)	
事業費		26,801	27,776	(+975)	
管理費等		9,672	15,228	(+5,556)	
収支差		▲ 15,138	▲ 21,853	(▲ 6,715)	
収支比率		58.50%	49.18%	(▲ 9.31%)	
(2)活動指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
① 市民利用における自主事業開催日数		34	54	55	51
②					
③					
④					
(3)成果指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
① 草野球等利用の利用者数		1,445	950	1,025	1,380
② サッカー練習場の利用者数		13,408	12,220	12,586	11,730
③ トレーニング室の利用者数		39,635	38,866	41,012	40,440
④					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない プロ野球やプロサッカーで使用する屋内アリーナやサッカーグラウンドを市民利用に供することで、高品質な施設で市民が野球・サッカーを楽しめる場を提供した（プロサッカーのサッカーグラウンドの芝張替えのため、天然芝コートは利用不可）。 また、前年度に引き続き、3階コンコースをランニングコースとして開放する「ナイトラン」事業の実施に併せ、トレーニングルームを無料開放したほか、好評であった「チャレンジダイエット企画」を継続実施するなど、自主事業の展開も含めた利用促進を図った。 さらに、恒例となった「ゆきひろば」及び「クロスカントリーコース」を開設するなど、イベント利用が少ない冬期間におけるスポーツの普及振興にも積極的に取り組んだ。 今後も、施設を有効活用し、市民の健康の維持向上やスポーツの普及振興に繋がる取組が積極的に展開されることが望まれる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 運動教室の開催日数の大幅増に加え、トレーニングルームの利用者数が過去最高を記録するなど好調であったが、草野球等やサッカー練習場の利用者数が減少したこと等により、売上高は21百万円（前年度比0.1%減）となった。 市民利用単独では収支の黒字化を達成することは難しいが、経費削減を継続し、効率的な管理運営に努める一方、広告媒体を活用した効果的な利用促進や新規事業の実施など、市民利用の機会増大施策の検討が望まれる。

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,632,920,495	流動負債	1,397,111,248
現金及び預金	2,851,906,518	買掛金	62,206,930
売掛金	416,801,543	短期リース債務	28,516,417
商品	54,222,668	未払金	905,625,368
貯蔵品	13,136,393	未払費用	51,418,039
前払費用	33,200,940	未払法人税等	94,864,700
未収入金	122,955,740	前受金	239,404,676
未収還付消費税等	36,269,500	預り金	15,075,118
その他	104,427,193		
固定資産	648,484,125	固定負債	57,199,266
有形固定資産	(248,621,764)	長期預り保証金	43,000,000
建物	218,886,438	長期預り敷金	3,382,600
構築物	217,941	役員退職慰労引当金	10,816,666
機械及び装置	9,504		
工具器具備品	29,507,881	負債合計	1,454,310,514
無形固定資産	(69,040,149)	(純資産の部)	
ソフトウェア	38,401,790	株主資本	2,827,094,106
リース資産	30,176,359	資本金	(1,000,000,000)
電話加入権	462,000	利益剰余金	(1,827,094,106)
投資その他の資産	(330,822,212)	利益準備金	28,000,000
投資有価証券	20,002,000	その他利益剰余金	1,799,094,106
退職積立金	7,836,000	施設保全設備更新積立金	645,709,649
繰延税金資産	302,184,212	繰越利益剰余金	1,153,384,457
その他	800,000		
資産合計	4,281,404,620	純資産合計	2,827,094,106
		負債及び純資産合計	4,281,404,620

損益計算書

(自 平成30年4月1日)
(至 平成31年3月31日)

(単位：円)

科 目	金	額
売 上 高		
貸 館 事 業	1,619,773,284	
商 業 事 業	911,589,255	
観 光 事 業	21,127,926	
そ の 他 営 業 収 益	1,063,539,138	3,616,029,603
売 上 原 価		2,651,502,929
売 上 総 利 益		964,526,674
販売費及び一般管理費		1,449,344,245
営 業 損 失		484,817,571
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	100,000	
受 取 手 数 料	14,935,655	
受 取 貸 貸 料	24,843,600	
雑 収 入	18,534,514	58,413,769
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	41,999	
雑 損 失	270,947	312,946
経 常 損 失		426,716,748
税 引 前 当 期 純 損 失		426,716,748
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	83,884,814	
法 人 税 等 調 整 額	△152,863,073	△68,978,259
当 期 純 損 失		357,738,489